

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3602		
科目名	競技スポーツ習得実習Ⅵ		
担当教員	本道 慎吾		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 1		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	実習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関係 D P 2－A 〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 D P 4－F 〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4－I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A 2 異文化適応（10%） F 1 探究と論拠（15%） F 2 課題解決（15%） I 2 量的分析（60%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	競技スポーツ取得実習Ⅰ～Ⅴでの分析結果を踏まえ、創発能力分析をさらに充実したものとするために、創発能力分析報告書の再検討を行い、学習した内容をさらに深めていきます。これらの分析結果については、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、自身の創発能力の向上に役立てる力を養う。さらに、競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴの内容と併せて、全体のまとめを行うことを目的としています。授業形態は、実習形式にします。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード コツ創発能力・カン創発能力・反省的实践		
授業の趣旨	■副題 自身が専門とする競技における感覚やイメージを創発能力分析報告書に記載し、運動における感覚やイメージ内容を分析し、課題を抽出し、課題を抽出して、創発能力の改善を図り、その方法について探究します。 ■目的 自身が専門とする競技における感覚やイメージを創発能力分析報告書で再検討を行い、分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、創発能力向上に役立て、競技力向上についての感覚と質的観点から検討する能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント		

	自身が専門とする競技における感覚やイメージについて創発能力分析報告書を作成し、学生同士が共有、検討し、種目横断的に行われるようなトレーニングなどを自身の感覚及び他者の感覚について整理し、その相違や創発能力の向上について検討することになります。								
総合到達目標	■競技力向上に必要な創発能力について、自身の競技と他者の競技を比較討議して、種目横断的に行われるようなトレーニングや自身の感覚及び他者の感覚を整理して、競技力向上する能力を修得する。 ・創発能力について具体的に説明できる。（第1回、第2回、第15回） ・創発能力向上のために必要なコツおよびカンを理解し、自身の創発能力を説明できる。（第3回、第6回、第9回、第12回） ・創発能力の向上方法について議論し、比較検討や内容を説明できる。（第4回、第7回、第10回、第13回） ・競技力向上に必要な種目横断的に行われる創発能力について説明できる。（第5回、第8回、第11回、第14回）								
成績評価方法	■創発能力分析報告書・発表（60%）：適用ルーブリック I 2 （評価の観点）創発能力分析報告書の記載内容及び発表内容で評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。 ■授業リアクションペーパー（15回）（40%）：適用ルーブリック A 1・F 1・F 2 （評価の観点）授業内で実施する授業リアクションペーパーで、自身及び他者の創発能力を理解しているかで評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。								
履修条件	「競技スポーツ習得実習Ⅰ SSCS1303」（1年次前期配当）、「競技スポーツ習得実習Ⅱ SSCS1302」（1年次後期配当）、「競技スポーツ習得実習Ⅲ SSCS2303」（2年次前期配当）、「競技スポーツ習得実習Ⅳ SSCS2304」（2年次後期配当）、「競技スポーツ習得実Ⅴ SSCS3601」（3年次前期配当）を履修している。								
履修上の注意点	特にありません。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ 競技スポーツ習得実習Ⅵについて ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、評価方法について確認する。競技スポーツ習得実習Ⅵの概要やその内容について概観する。自身の進める研究への関心を育てる（A 2・F 1）。 ③予習（60分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（60分） ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある競技についてのトレーニングの実際を確認しておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴの振り返り ②授業概要 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴで取り扱われた創発能力とはどのような能力であるかについて、これまでの創発能力分析報告書を用いて振り返りを行い、その能力について各自説明をする。競技スポーツ習得実習における創発能力の意味と関心を育てる（A 2・F 1・F 2）。 ③予習（60分） 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴで記載した創発能力分析報告書の記載内容を整理し、確認しておく。 ④復習（60分） 振り返りを行った結果に基づき今後のトレーニングに関する改善点や課題について、自身の考えを説明できるようにしておく。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 運動の実践を通じたコツ、カンの収集① ②授業概要 自身の競技力向上に必要とされる技術について実践を通して、創発能力向上のために必要なコツおよびカンについて身体知を中心に収集し、創発能力分析報告書にまとめる。実際に体験した内容について自身の創発能力について考える（F 1・I 2）。 ③予習（60分） 自身が実践している技術トレーニングについて整理し、確認しておく。 ④復習（60分） </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 競技スポーツ習得実習Ⅵについて ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、評価方法について確認する。競技スポーツ習得実習Ⅵの概要やその内容について概観する。自身の進める研究への関心を育てる（A 2・F 1）。 ③予習（60分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（60分） ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある競技についてのトレーニングの実際を確認しておく。	2	①授業テーマ 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴの振り返り ②授業概要 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴで取り扱われた創発能力とはどのような能力であるかについて、これまでの創発能力分析報告書を用いて振り返りを行い、その能力について各自説明をする。競技スポーツ習得実習における創発能力の意味と関心を育てる（A 2・F 1・F 2）。 ③予習（60分） 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴで記載した創発能力分析報告書の記載内容を整理し、確認しておく。 ④復習（60分） 振り返りを行った結果に基づき今後のトレーニングに関する改善点や課題について、自身の考えを説明できるようにしておく。	3	①授業テーマ 運動の実践を通じたコツ、カンの収集① ②授業概要 自身の競技力向上に必要とされる技術について実践を通して、創発能力向上のために必要なコツおよびカンについて身体知を中心に収集し、創発能力分析報告書にまとめる。実際に体験した内容について自身の創発能力について考える（F 1・I 2）。 ③予習（60分） 自身が実践している技術トレーニングについて整理し、確認しておく。 ④復習（60分）
回	内容								
1	①授業テーマ 競技スポーツ習得実習Ⅵについて ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、評価方法について確認する。競技スポーツ習得実習Ⅵの概要やその内容について概観する。自身の進める研究への関心を育てる（A 2・F 1）。 ③予習（60分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（60分） ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある競技についてのトレーニングの実際を確認しておく。								
2	①授業テーマ 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴの振り返り ②授業概要 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴで取り扱われた創発能力とはどのような能力であるかについて、これまでの創発能力分析報告書を用いて振り返りを行い、その能力について各自説明をする。競技スポーツ習得実習における創発能力の意味と関心を育てる（A 2・F 1・F 2）。 ③予習（60分） 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴで記載した創発能力分析報告書の記載内容を整理し、確認しておく。 ④復習（60分） 振り返りを行った結果に基づき今後のトレーニングに関する改善点や課題について、自身の考えを説明できるようにしておく。								
3	①授業テーマ 運動の実践を通じたコツ、カンの収集① ②授業概要 自身の競技力向上に必要とされる技術について実践を通して、創発能力向上のために必要なコツおよびカンについて身体知を中心に収集し、創発能力分析報告書にまとめる。実際に体験した内容について自身の創発能力について考える（F 1・I 2）。 ③予習（60分） 自身が実践している技術トレーニングについて整理し、確認しておく。 ④復習（60分）								

	実践を行った内容に関する効果について確認し、自身の考えを説明できるようにしておく。
4	①授業テーマ 創発能力分析報告書に基づいた議論① ②授業概要 各自の創発能力分析報告書の内容を発表する。創発能力分析報告書に記載された内容を他の競技を専門とする学生と、用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論し、その内容について能力毎に整理し、リアクションペーパーにまとめる（I 2）。模範解答の説明を含め、創発能力について復習を行ないます。 ③予習（60分） 自身の創発能力分析報告書から共有すべき内容を抽出し、確認しておく。 ④復習（60分） 発表に必要な情報を収集し、自身の考えを説明できるようにしておく。
5	①授業テーマ 議論内容の発表① ②授業概要 創発能力分析報告書に記載された内容を基に行われた議論をまとめ、発表を行う。またその発表について自身のコツやカンとの比較を能力毎に行い、自身及び他者を評価することで、創発能力分析への考察の範囲を広げる（F 2・I 2）。 ③予習（60分） 前回までの議論に基づいて自身の技術に対するカン、コツを再考し整理し、確認しておく。 ④復習（60分） 発表された他のグループの発表内容について整理し、自身のトレーニング時にその内容を反映させ、試行した自身の考えを説明できるようにしておく。
6	①授業テーマ 運動の実践を通したコツ、カンの収集② ②授業概要 自身の競技力向上に必要とされる技術について実践を通して、創発能力向上のために必要なコツおよびカンについて身体知を中心に収集し、創発能力分析報告書にまとめる。実際に体験した内容について自身の創発能力について考える（F 1・I 2）。 ③予習（60分） 自身が実践している技術トレーニングについて整理し、確認しておく。 ④復習（60分） 実践を行った内容に関する効果について確認しておく。
7	①授業テーマ 創発能力分析報告書に基づいた議論② ②授業概要 各自の創発能力分析報告書の内容を発表する。創発能力分析報告書に記載された内容を他の競技を専門とする学生と、用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論し、その内容について能力毎に整理し、リアクションペーパーにまとめる（I 2）。模範解答の説明を含め、創発能力について復習を行ないます。 ③予習（60分） 自身の創発能力分析報告書から共有すべき内容を抽出し、確認しておく。 ④復習（60分） 発表に必要な情報を収集し、自身の考えを説明できるようにしておく。
8	①授業テーマ 議論内容の発表② ②授業概要 創発能力分析報告書に記載された内容を基に行われた議論をまとめ、発表を行う。またその発表について自身のコツやカンとの比較を能力毎に行い、自身及び他者を評価することで、創発能力分析への考察の範囲を広げる（F 2・I 2）。 ③予習（60分） 前回までの議論に基づいて自身の技術に対するカン、コツを再考し整理し、確認しておく。 ④復習（60分） 発表された他のグループの発表内容について整理し、自身のトレーニング時にその内容を反映させ、試行した自身の考えを説明できるようにしておく。
9	①授業テーマ 運動の実践を通したコツ、カンの収集③・中間のまとめ ②授業概要 自身の競技力向上に必要とされる技術について実践を通して、創発能力向上のために

	必要なコツおよびカンについて身体知を中心に収集し、創発能力分析報告書にまとめる。実際に体験した内容について自身の創発能力について考える。これまでの授業内容をレポートにまとめる（F 1・I 2）。模範解答の説明を含め、競技力向上に必要な創発能力について復習を行ないます。 ③予習（60分） 自身が実践している技術トレーニングについて整理し、確認しておく。 ④復習（60分） 実践を行った内容に関する効果について確認し、自身の考えを説明できるようにしておく。
10	①授業テーマ 創発能力分析報告書に基づいた議論③ ②授業概要 各自の創発能力分析報告書の内容を発表する。創発能力分析報告書に記載された内容を他の競技を専門とする学生と、用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論し、その内容について能力毎に整理し、リアクションペーパーにまとめる（I 2）。模範解答の説明を含め、創発能力について復習を行ないます。 ③予習（60分） 自身の創発能力分析報告書から共有すべき内容を抽出し、確認しておく。 ④復習（60分） 発表に必要な情報を収集し、自身の考えを説明できるようにしておく。
11	①授業テーマ 運動の実践を通したコツ、カンの収集④ ②授業概要 自身の競技力向上に必要とされる技術について実践を通して、創発能力向上のために必要なコツおよびカンについて身体知を中心に収集し、創発能力分析報告書にまとめる。実際に体験した内容について自身の創発能力について考える（F 1・I 2）。 ③予習（60分） 自身が実践している技術トレーニングについて整理し、確認しておく。 ④復習（60分） 実践を行った内容に関する効果について確認し、自身の考えを説明できるようにしておく。
12	①授業テーマ 運動の実践を通したコツ、カンの収集④ ②授業概要 自身の競技力向上に必要とされる技術について実践を通して、創発能力向上のために必要なコツおよびカンについて身体知を中心に収集し、創発能力分析報告書にまとめる。実際に体験した内容について自身の創発能力について考える（F 1・I 2）。 ③予習（60分） 自身が実践している技術トレーニングについて整理し、確認しておく。 ④復習（60分） 実践を行った内容に関する効果について確認し、自身の考えを説明できるようにしておく。
13	①授業テーマ 創発能力分析報告書に基づいた議論④ ②授業概要 各自の創発能力分析報告書の内容を発表する。創発能力分析報告書に記載された内容を他の競技を専門とする学生と、用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論し、その内容について能力毎に整理し、リアクションペーパーにまとめる（I 2）。模範解答の説明を含め、創発能力について復習を行ないます。 ③予習（60分） 自身の創発能力分析報告書から共有すべき内容を抽出し、確認しておく。 ④復習（60分） 発表に必要な情報を収集し、自身の考えを説明できるようにしておく。
14	①授業テーマ 議論内容の発表④ ②授業概要 創発能力分析報告書に記載された内容を基に行われた議論をまとめ、発表を行う。またその発表について自身のコツやカンとの比較を能力毎に行い、自身及び他者を評価することで、創発能力分析への考察の範囲を広げる（F 2・I 2）。 ③予習（60分） 前回までの議論に基づいて自身の技術に対するカン、コツを再考し整理し、確認しておく。 ④復習（60分）

	発表された他のグループの発表内容について整理し、自身のトレーニング時にその内容を反映させ、試行した自身の考えを説明できるようにしておく。
15	①授業テーマ 競技スポーツ習得実習Ⅵのまとめ ②授業概要 競技スポーツ習得実習Ⅰ～Ⅴまでの内容を含め、競技スポーツ習得実習Ⅵで学んだことをレポートにまとめる（Ａ２・Ｆ１・Ｆ２・Ｉ２）。模範解答の説明を含め、競技力向上に必要な創発能力について復習を行ないます。 ③予習（６０分） これまでの創発能力分析報告書を概観し自身の感覚等を明確にし、確認しておく。 ④復習（６０分） まとめられた創発能力分析報告書について他者と情報を共有し、自身のトレーニング時にその内容を反映させ、試行した自身の考えを説明できるようにしておく。
関連科目	「競技スポーツ習得実習Ⅰ SSCS1303」（１年次前期担当）、「競技スポーツ習得実習Ⅱ SSCS1302」（１年次後期担当）、「競技スポーツ習得実習Ⅲ SSCS2303」（２年次前期担当）、「競技スポーツ習得実習Ⅳ SSCS2304」（２年次後期担当）、「競技スポーツ習得実Ⅴ SSCS3601」（３年次前期担当）は、コソ創発能力・カン創発能力を扱うものとして、本講と密接に関係します。
教科書	指定しません。
参考書・参考URL	授業時に案内します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜４時限
研究比率	

